THE WOMAN'S WEEKLY

毎週金曜日發行

第貳巻 第貳號

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年一月七日発行）

婦人週報

主要目次

◎母の文庫……小橋三四子
◎宮中へ初參內…矢島揖子
◎モンテソリー女史と語る岸邊福雄
◎男女交際の注意…三名家
◎小説「何處へゆく」…松本雲舟
◎鳩山春子論◎エリオット傳
◎天下で一番うまい物
◎着物の配合◎象山の姪
◎風俗改良團の事業…薄田斬雲

定価一部四銭五厘
郵送料五厘

婦人週報社

新春の贈答品

高尚優美なる現代的家庭の贈答品
永久に實際の役に立つ家庭用圖書

國分操子著 村田丹陵口繪 ▲一名嫁入道具▼
家庭日用 婦女寶鑑
◎和裝優美帙入全二冊 正價金五圓五拾錢
◎洋裝美製箱入全一冊 正價金三圓五拾錢
郵稅各金十六錢

三輪田眞佐子著 ■女訓之栞 和裝美製全一册 正價金四十五錢 郵稅金六錢

吾妻勝剛著 ◎お産の心得 洋裝美製全一册 正價金八十錢 郵稅金八錢

青木歌子著 ■新體趣味女子文範 洋裝美製全一册 正價金六十錢 郵稅金八錢

關根正直 坂正臣著 ◎筆のゆきかひ 和裝美製全二册 正價各金五十錢 郵稅各六錢

小野鵞堂書 ■增訂女子手紙文 和裝美製全一册 正價金五十錢 郵稅金六錢

坂正臣作並書 ◎女子習字文の山口 和裝美製全二册 正價金各卌五錢 郵稅各四錢

落合直文著 小野鵞堂書 ■女子消息雁のゆきかひ 和裝美製全二册 正價各金五十錢 郵稅各六錢

佐藤梅園書編 ◎女子習字文のちかみち 和裝美本全一册 正價金四十五錢 郵稅金六錢

佐藤梅園書編 ■新式かなのちかみち 和裝美製全一册 正價金四十錢 郵稅金六錢

村井秋翠 中村興湖共著
家庭袋物細工全書
◎和裝美製全一册 正價金一圓拾錢 郵稅八錢

伊藤文子 遠藤錠子 高田久子共著 ◎裁縫おさいく物 和裝美製全一册 正價金九十錢 郵稅金八錢

伊藤文子 遠藤錠子 高田久子共著 ■裁縫おさいく物續編 和裝美製全一册 正價金一圓二十錢 郵稅金八錢

伊澤峰子著 ◎家庭實用小兒洋服裁縫全書 洋裝美製全一册 正價金一圓三十錢 郵稅金八錢

女子手藝普及會編 ■新案裁縫小物全書 洋裝美製全一册 正價金一圓二十錢 郵稅金八錢

吉岡房次郎著 ◎女子技藝撮み細工全書 和裝美製全一册 正價金九十錢 郵稅金八錢

山田きよ子著 ■袋物細工之枝折 和裝美製全一册 正價金一圓十錢 郵稅金八錢

森本義子著 ◎家庭編物全書 和裝美製全一册 正價金八十錢 郵稅金八錢

末荅庵梅田矯菓著 ▲洋裝全一册正價七十五錢郵稅六錢
家庭和洋菓子製法

木村淡香著 ■編物圖案集 洋裝美製全一册 正價金一圓廿五錢 郵稅金十二錢

金子支江子 三好幸子 石川壽美子共著 ◎家庭造花術全書 和裝美製全二册 正價一圓六十五錢 郵稅金十六錢

木村淡香著 ■花卉圖畫帖 第一、第二、第三 正價各金三十錢 郵稅各四錢

宇野彌太郎 渡邊鎌吉共著 ◎家庭西洋料理 洋裝美製全一册 正價金九十五錢 郵稅金八錢

赤堀峯翁 赤堀峯吉 赤堀菊子著 ■家庭十二ヶ月料理 和裝美製全二册 正價各金五十錢 郵稅各八錢

宇野彌太郎著 ◎和洋卵料理法 和裝美製全一册 正價金五十五錢 郵稅金八錢

赤堀峯翁 赤堀峯吉 赤堀菊子著 ■即席惣菜料理 洋裝美製全一册 正價金三十五錢 郵稅金四錢

發行所 振替東京二三八番 東京日本橋 大倉書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目次

母の文庫……………………小橋三四子
時事週評……………………
一人一評——鳩山春子……………………
宮中へ初參內……………………矢島揖子
モンテソリー女史と語る……………………岸邊福雄
男女交際の注意……………………綱島佳吉
長井長義、日代田逸子……………………
お正月の遊（婦人スケッチ）……………………近藤浩一路
風俗改良團の事業（二）……………………濱田斬雲
オハナシ——大將と狐……………………巣鴨村人
子供の智慧……………………
着物の配合……………………菅野田鶴子
家庭小言……………………雲舟生
天下で一番うまい物……………………斬雲
運命に弄ばれた象山の姪……………………
世界名女傳　女流作家エリオット……………………
何處へゆく……………………松本雲舟
慰安錄……………………
時事……………………
編輯室より……………………

母の文庫

小橋　三四子

△母の只一つの藏書

年中の〆め括りに忙しかつた一夜も明けて、今年の元旦は靜かにもの新らしく巡つて來ました。きのふ迄の快晴に似ず、曇つた空はやがて小雨を降らして、いかにもしんみりとして氣分が漂ふ中に、取片付いた机の前に坐つて居りますと、鉢の白梅がほのかに薫つて來るのでした。ふと書架に一冊ある古びた厚い和綴ぢの書物を取出しました。これは「女有職學文庫」と云つて、母の只一つの藏書で、私の幼い頃からよく見入つたものでありますが、殊にこの頃は木版刷りの挿繪や文字ののどかさに、限りなき興趣を覺えて、疲れた夕べなどよく繰りひろげるのが例であります。

△婦人の百科全書

美濃紙判の凡そ二寸も厚みのあるこの書物は、先づ本朝名女集といふのに始まつて、琴曲、茶の湯、生花、香等の遊藝から、小笠原禮式、人間一生の祝式、裁縫、染物、汚み拔き法、紐結び方から、化粧の秘傳、和歌の道、女用文章、同じく書樣、さては廿四孝、三十六家仙、源氏等の繪解きから、女大學、女庭訓、女小學、女今川もあり、百人一首もあれば、懷胎養生、育兒法もあり、夢判じ、男女の相生、三世相、十干十二支等をも網羅した正に婦人の百科全書であります。五十年前の女子教育はこの書一冊に盡きて居つたもので、これに養はれたわが母を通して、私の中にもこの思想が流れ込んで居るのであらうと思へば、この書と私とに連る奇しき血脈の糸を手繰つて、時は物をどう變へるかと云ふ事などを思ひ合はされ、久しく我れを忘れて見入りました。

△今の家事教科書と

然し翻つて今日の女學校の教育に最も重きを置き、且つ多くの時間を費して居る家事科の書物を見れば、時代と共に多

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少の進歩は加はつて居りますが、母の文庫に納められた內容に餘り隔つては居りませぬ。否却つてその說明や興趣ある書き振りは、遙かに及ばぬ感があります。家事科の課程も一冊ハ書物に纏めて、親切に興味あるやうに編纂すれば、强ち教場に學ばずとも、遊戯の暇にも習得せらるゝ事が多からうと思はれます。實際今日の家事科と稱するものは、學校で學ぶよりも心ある母の指導の下に家庭で教ゆべきことが、多分を占めて居り、且つその方が、不知不識に實驗も積まれて、効果が多く擧る筈であります。

△學校の勞を省く爲に

更らに常識の養成といふ事も、教育者方の往々心配せらるゝ處でありますが、この書物のやうなものに親しんで居る間に、養はるゝ事が多からうと思はれます。學校教育の盛んになるに反して、家庭の教育は一向に進歩ハ跡を見ませぬ。今日は昔と異つて、婦人の出版物も日に月に多くなつて參りました。もし母が少しの心掛けを以て、讀書し、研究する念があれば、娘の教育上にも、學校の勞を省くことが多々ありませう。而して學校は更らに今日以上に智識の開發なり、精神の修養なりに力を注ぐことが出來やうと思はれます。それにつけても母の文庫はこの一書に家事・常識の養成等をも籠めた編纂法で、五十年前の企てとしては誠に面白きものであると存じます。

時事週評

▲御進講者決定　十二月の御講書初めの御進講者として、和書には芳賀博士松本(愛重)博士、漢書には土屋弘氏小牧昌業氏、洋書には富井博士穗積博士が其の選に當られました。御進講者の光榮は勿論の事ですが、恁ういふ崇高な御慣例を守りたまふ　聖上の大御心を今更のやうに仰がねばなりません。知識を世界に求める明治初年の御志が今も尚繼續することは有難い次第です、それにしても唯これが聖上の御慣例に止まらず、國民一般の風習となつて、もつと私共が新らしい年に於て知識を世界に求むる志を振ひ起して、年々進歩したいものです。讀書といふことが唯若い人の間のみならず、年老つた男女の間にも一般に行はれんことを望みます。

▲良書の選擇　日本は每年の書物雜誌の出版高に於ては、世界の一等國に入つてゐます。貧乏國で讀者の範圍が狹い割合から出版數を見たならば、世界に冠たりとも申せませう。併しそれだけ澤山の書物の中に十年の壽命を保つことの出來る書物は果して幾何ありませう。想へば心細い次第です。著者も出版者も極めて僅かな報酬を得るに留まります。けれどもそれは自業自得で、著者と出版者がもう少し責任を重んじて、良書を出すやうに工風したならば、出版の數を減し、又惡書を葬つて、良書を出すことが出來るやうになりませう。著者と出版者の自制は今日の急務です。又それは讀書界をもつと廣く深くする秘訣であります。

◎年始狀を賜はれる方々へ　本誌の愛讀者を初め御同情ある方々から年始狀を澤山賜はりましたが、一々御答禮も出來かねますので誌上で御禮を申上げます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(一人一評)

鳩山春子

▲「僕の方が背が高い」、「いや、僕の方が高い」と兄弟は互に言ひ爭つてゐるとお母さんが、「どれ、其の柱のところへ立つてごらん、ママが計つてあげますから」と兄弟を代る番子に立たせて、其の身の丈を計つてやつた。唯これだけの事を聽いてもいかにも懷かしい家庭の狀が眼の前に浮んで來る。それが鳩山一郎さんと秀夫さんとが二十幾つの時であつたと聽いては、尚更面白く感せられる。

▲鳩山和夫氏がまだ存命中「日曜などに兄弟を相手に芝原で相撲を取るが、初めは兄弟一緒にかゝつて來ても樂であつたが、此頃では、一人づゝかゝつて來ても、パヽの方が敵はぬやうになつた」と述懷されたと聽く。かういふママ、とパヽの温かい家庭の裡に育つた兄弟の中、一人は法科大學の最も年若な教授として其の造詣を示し、一人は議政壇上に立つて、處女演說、いや處女腕力を振りまはすやうに生ひ立たれたことは、ママの身になつては、地下のパヽにとりてもどれほど嬉しいことであらう。

▲殊に一郎さんが代議士になつてパヽの跡を繼ぐやうになるには、ママの苦心はどれ程であつたか解らない。昨年の總選擧における春子さんの活動振を見た者は、誰でも母親の苦衷に同情して、一郎さんに一票を投ずることを辭さぬのであつた。和夫氏が存命して大臣となつたよりも、一郎さんを代議士にした事は、春子さんの喜びであり、誇りであつたらうと察せられる。

▲さういふ春子さんは智の人である。一ツ橋の學窓時代から飽くことを知らぬ知識慾を持つて居られた。其の性質は至つて淡泊で、直情徑行である。日本婦人によくある廻りくどい婉曲な事は到底出來ないし、又するだけの辛抱力も持つてゐられないらしい。然りは然り、否は否と鮮明と言ふことの出來る婦人である。かういふ型の婦人は今でも日本では尠ないのだから、二三十年も前にはどれほど珍らしかつたであらう。かういふ性格であればこそ、婦人の選擧運動の先驅者たる名を擅にすることが出來たのであらう。

▲春子さんは寡婦として全く若返つて、職業學校と女高師に敎鞭を執つてゐられる。「家に愚圖々々してゐれば、嫁のあら探しでもする氣になる。敎師をしてゐれば、毎日どれほど愉快に送れるか知れない」これが春子さんの敎壇に立たれた動機らしいが、若し在來の婦人ならば、かういふ場合に「苟くも大臣格であつた鳩山の夫人が敎師をして小遣取りをするのは見つともない」などと、いらざる世間體を考へたであらうにと思はれる。要するに寡婦として理想的な生活を送られるのが春子さんの近狀であらう。寡婦が社會的に働くといふ事が一般の風潮となつたなら、婦人の力で社會を改善することが出來、從つて嫁いぢりや、家庭の離婚沙汰が五割位は減するだらうと思ふ。世の寡婦が悉く春子さんの例に倣はんことを望む。(くも)

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮中へ初參内

矢島楫子

△古洋服を直して

私は是までも屢々矯風會の用事で、大臣方にお會ひする爲め、宮中に參りましたが、其都度御門の處で守衛の人々から、穢ない者でも來たかの如く取扱はれましたので、いつも參内する時は思ひ煩ひました。昨年御大典に際し叙勲されました御禮に參内いたした時には、辭令に依つて御門は直ぐ通れましたが、玄關で「今度はそれでよろしいが次からは洋裝又は袿袴でなければいけません」と注意されましたので、今度新年に參賀するについては、服裝を如何すべきかと思ひ煩ひました。けれども袿袴はどんなお粗末なものでも二百圓もいたし、其上に袿袴を着ればおすべらかしとか云ふ髪にしなければならぬと申す事ですから、どんなのでも洋服をほしいと思つてゐますと矯風會のお友達から今度米國へ歸へられるウイルソンと云ふ婦人のがあるから其れを直して着たらよからうと申されましたので、相等の代價で頂戴いたさんと存じますと、先方では、參内なさる服裝にしていたゞくので返つて光榮に存じますからと、寸法まで取つて、すつかり私に合ふ様にして下さいました。それを着て、車夫をたよりに正月二日午前十時頃、參内いたしますと、無事に服裝は通過いたしました。

△瞑目して精神統一

まゐりますと、殆んど婦人の影は見えず、金色燦爛たる軍人さんばかりです。名前をつける所で氏名を帳面に認めますと、大廣間の如うなお廊下にまゐり、其處の兩側に居列んだ參賀の軍人の間に、私の如うな穢ない婆さんが一人割込んでゐたのですから、随分目立つた事と思ひます。

四

陛下の出御までは約四十分ありましたが、私は瞑目して精神統一に努めて居りましたから、少しも疲れませんでした。私はあゝ云ふ所に於ても靜かに自己を統一して居られた事が何より嬉しかつたのでございます。

△眞近く天顔を拜す

やがて陛下には御機嫌いと麗はしく御廊下を進御遊され、私共は畏れ多い程お近くにて天顔を拜する事が出來ました。私は遠く雲の上を拜するより、近く拜む方がどれ丈有りがたく感せられますかを實驗いたしたのでございました。あの様な處に參り得る婦人方が餘り見えぬのは誠に遺憾な事に思はれますが、之れ一つは服裝其他が甚だ億劫なるが爲めではあるまいかと思はれるのです。それで何とかもつと簡便に婦人の禮服が出來たらと願はれるのでございます。實踐女學校の生徒の上衣の如きものでも、之を禮服と定めれば少しも妙に感せられぬ様になるのですから、一寸上にひつかければよい禮服が出來たら如何に便利でせう。私は宮中に參内する度に益々さう云ふ事を感ずるのでございます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

モンテッソリー女史と語る

東洋幼稚園長　岸邊福雄

△桑港博覽會にて

私は昨年九月から十二月まで約百日間、北米合衆國に旅して、彼地の女子教育幼兒教育を視てまゐりましたが、其歸途、桑港に於て彼の有名な伊太利の兒童教育家モンテッソリー女史と會談する機會を得ました。女史は桑港大博覽會の教育館内に、所謂モンテッソリー式の教育を實地に行ふて居るので、私も熱心な參觀婦人の中に混つて見ました。それは女史の高弟とも云ふべき婦人が十數人の兒童を教育いたして居るので有ました。

△育兒法の講義

尚、女史は毎日午後四時より五時まで一時間、パーレスホテルの一室に育兒法の講義を開いて居りましたので、私も一日其れを聽講いたしたが、年四十五六とも見える、でつぷりと肥えた氣品ある女史の清らかな音聲は、誠に堂々たるものでありました。勿論其講義は伊太利語で行はれ、若い米婦人が英語で通辯するのですが、一日一時間の聽講料一弗の金を高しとも思はず拂つて集る二百人位の聽講人の中には、男が十四五人もゐるばかり、大多數は婦人でした。而も其れが學校の教師は半數で、他は妻たり母たる婦人であると聞いて、かくも兒童教育に熱心なる米國の兒童は如何に幸福であらうと、羨望に堪えなかつた次第です。

△女史への質問

其れから私は或人の紹介を得て女史に面會を求めた處、丁度十一月二十五日、彼國の感謝祭の日に會ふてくれました。私は通譯者を通じて、自分は日本の幼稚教育に十數年從事して居るもので、貴下の著書も少しく研究した事のあるものだが、無遠慮な私の質問にお答へ下さるかと云ふと、女史はニコリと笑はれて、詰問されるとは思はないから何なりと聞かれよと云ひました、其處で時間は幾何下さるかと重ねて訊ねると、幾何でもと心よく答へてくれましたから、隨分色々の事を訊ねましたが、其數ある問答の中二三を述べますと、私が「桑博の教育館内に貴女の教育されてゐる子供は餘りに靜かすぎると思ふが如何」と問へるに對し「私は靜かな方がよいと思ひ、あゝ云ふ風に導いてゐます。子供が初めから靜かではなくて教育に依つてあゝなつてゐるのです」と答へられた。

△笑顔が少ない理由

私はまた「子供の笑顔が少ない樣だが」と質問すると、女史はジッと私を見てゐたが「子供は笑顔を顏へ出してはゐないが、仕樣と思つてゐる仕事をしてゐるから、心の中では笑つてゐる」と云ふ。「欠伸が少ないと思ふが如何」と云ふ問に對しては「聲を出しては遊ばぬけれど、喜んで仕事をしてゐるからだ」と。そして尚此上、玩具を造るつもりであるかと訊ねますと、其必要を認めないが唯一つ花園を作りたいと思ふと云つてゐました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女交際の注意

男と交際する場合　女の採るべき態度

男を救ふために

綱島佳吉

△相補ふ天性

私は男女交際の注意といふよりは、その根本問題に就て、少し話して見度いと思ひます、元來男女は互に異性によつて各自の缺陷をおぎなつて、本性を全うする天性を持つてゐます。米國あたりでは、ハーバートでも、エールでも皆其の大學生が盛んに、婦人と交際してゐる。で其の目的は何處にあるかと申しますに、敎育ある高尙な婦人に接する事によつて、各々崇高なる人格を作り、又人として眞の敎育を受ける事が出來るといふ樣な考へを持つて居るのです。從つて婦人に交らない學生は粗野であるといふ批難を受けるので、非常なる尊敬をもつて婦人と交り、その感化を受けんとして居るのです。女子の方から申しても、亦これと同樣な考へを持つて、男子と交際して居りますから、何の不都合も無く、美しい交りを續けて行かれるのです。而して、一度間違つた觀念が起つて、其の交際の間に不都合の事が生じたと致しますと、それは再び社會に立つ事が出來ないやうな社會的制裁を加へられる事になつて居るのですから、滅多に間違いはありません。

△男を感化して

けれとも我國では男子が女子に對する時に、まだ尊敬を持つて女子を見るといふ人も少なく、婦人自らも男子の前に立つた時に、其の男子を感化しやうとする考へなどを持つて居る人も少ないのですから、今日の靑年男女をして、自由に交際せしむる事は、恰も虎を市街に放つやうな感がされます。

それで私が今日の婦人に望み度い事は敎育のある見識のある高尙なそして世間を知つて居る婦人が自ら立つて、靑年男子を救つてやるといふ樣な考へを以て、男子の間に入つて男子を導いて之を感化することです。大いなる人格の婦人に接した時には、男子は同性によつて得る感化よりも、より以上の感化を與へられるものです。二十年ばかり以前、米國のノルスフヰードの夏期學校を見たことがありました。こゝにシカゴから來たと云ふ女子靑年會に働いて居た一婦人がありましたが、實に神々しい一種云ふに云はれない德を備へて居て男子間にあつて非常なる尊敬を以つて迎へられ、そして偉大なる感化を與へて居たのを見て、何とも云へない快感を感じました。私は早く我國にもかゝる婦人が多くなることを希望して居ります。

六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

親の監督を要す

理學博士 藥學博士 長井長義

△細君あるを知らぬ

吾國の古い習慣から、現今の堂々たる女子教育家までが、女子は家庭の主婦たるものであつて、社會の人ではないと云ふ様な事を云つてゐる。また、女子が社會に出ると云ふのは、彼等が新聞雑誌記者となるか、慈善事業に従事するか、女權擴張を叫んだりする事のみである如く心得てゐる様である。けれども之は非常な間違ひで、私は女子も男子も共に家庭の人である、女子のみ獨り家庭の人でないと同時に、男子のみが社會の人ではないと思ふのである。翻つて吾國の社交なるものを見ると、男子には不完全ながら交際なるものがあるが、女子には殆んど無い。私の大學の同僚とは交際するが其夫人方とは全然交際がない、だから奥さんがあるのか無いのか知らずにゐると生きてゐる時知らなかつた妻君が死んだと云ふ通知を受けて、彼の男にも妻君があつたのかと思ふ様な事もある。

△父兄の重大な義務

私は男子が交際する處には、其夫人たり令孃たる女子が參加して交際するに至らなければ、眞の社交とは云へぬと思ふ。又男子のみの社會には眞の輿論は起らぬ。それは甚だ偏頗なものたるを免れぬのである。かゝる意味に於て男女混同の交際がなければならぬばかりでなく、若い男女が獨立して交際する事は、社會の秩序が許さぬのであるから、父兄たるものは其子弟の爲めに交際の道を開いてやらなければならぬのである。即ち父兄が爲す交際場裡には子女を連れて出る。かくする事は子供を學校に出すと同じ様に重大な義務であると思ふ。

△親の許せる交際

如斯眞の社交が生れゝば、若い子女は、自身で交際の相手を撰ばずとも、父母が撰んでくれるのを待つて交際すればよい事になる。まだ獨立した考のない若い子女が勝手に異性の友を撰ぶと云ふ事は危險でもあり、又すまじき事である。故に教育ある人の家庭であるならば、毎週、日曜なら日曜の午後と云ふ具合に時を定めて訪問者を歡迎し主人主婦は其子女と共に來訪者に應接する様にしたい。かくすれば若い男女は専門に渉らぬ一般的な趣味ある會話を交換する事が出來、共に遊戯をなす事も出來る。其中に漸々趣味のある所、人格を認め合つた人々とは、益々親しく交際する様になる。かくして日本現時の如き機械的な結婚をせずとも、若い男女は其一生を共にするに足る適當な人を見出し得るのである。我國現在の如き結婚が行はれてゐる間は、文明國を以て誇る事は出來ない。私が前に述べた様な眞の社交が生れて、機械的な結婚が影を絶つに至るのは現在の教育ある父兄が子女を導くの如何にあるのである。殊に直接子女の監督に當つてゐる母親たるものは、偏頗なる考を脱して、若き子女の爲めに適當な交際の道を開いてやらねばならぬ。是れ實に父母たるもの丶義務なりと信じて、私は之を實行して來たものである。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母親が連れて歩く

男爵夫人　目賀田逸子

私は娘を五人育てましたが、年頃になつて交際致させます折も、私の行く程の家には、何處へでも連れて參りました。娘達もまた一人で出歩くなどは一向に好みませんでした。殊に行く先きは獨身者や、書生さんのお家には上りません。大抵妻子のある方か、御兩親のある所謂暖かい家庭の家族と交際致して居ります。男子の上ずつた、口前の上手なのが、一番厭でもあるし、恐ろしくもありますから、どんなに快活に滑稽な事を云つても心の底が締つて、眞面目な人なら、安心でございます。なほその家庭の狀態は人間を作りますから、よく〳〵調らべなければならぬと存じます。惡い家庭に育つた者が、脱線し出したら止め度がありませんが、それに反して清い家庭に育つた者は、もし誤つて道に迷ふ事があつても再び正道に立ち歸る事が出來るのが、普通のやうに思はれます。

八

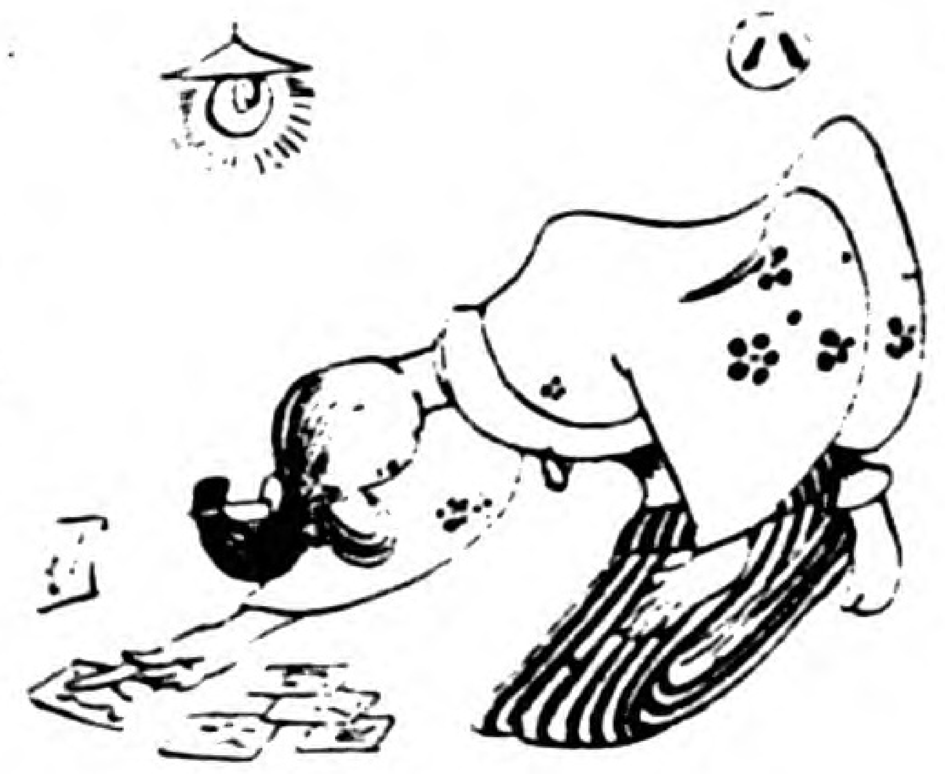
□お正月の髪□

(イ)

(イ)お正月の支度は全然出來上りました、殊にお髪は一際念入りに仕上げたので見事に櫛目立つて一糸も亂れず元日の初日に眩しいほど美しく見えました。

(ロ)

(ロ)ところがそれも束の間、御雜煮をいたゞくと早々門前に飛出して遣羽根をはじめます忽ちお髪などは忘れてしまひ夢中になつて突きつゞけるのでお髪は後へ後へゆさぶられ振り上げられてしまひます。

(ハ)


(ハ)更に灯がともるのも待遠しく歌留多なさりはじめ火の出るやうに熱中して今度は反對にお髪を前のめりに振り下げます。

(ニ)

(ニ)さいふ始末で晝は遣羽根で後ろにゆさぶり夜は歌留多會で前に振り下げ、折角のお正月の髪も一日經たないうちに滅茶々々になつてしまひました。

髷の心を掌にのせて「あらまあ」といつて見たところでもう追ひつきません。(浩一路)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

風俗改良團の事業（二）

薄田斬雲

△衣服の改良

此に云ふ衣服の改良は、形を變へる意味ではありません、東京に居る支那の女は漢洋折衷とも云ふべき氣の利いた服裝をして居ますが、日本婦人が和漢洋折衷の氣の利いた服裝を發明する迄にはまだ〳〵長い年數を要する事でせう、此の點はオイそれと我等同人間にも名案はありません、唯だ、私達の改良は最も手近く行ひ得られそうな點に在るのです、第一に婦人服の裾に薄ぺらな絹物を用ゐる事を止してモツと丈夫な品を用ゐるのです、下駄の表と摺れ合ひ土の上を曳く樣な裾には丈夫な品を用ゐなくては理窟が合はないのです。夫れを武陵桃源時代の悠長な惟吞な習慣其儘を今日の多忙な時代に襲踏するのは勘違ひでせう、二度も外出したら晴衣の裾から綿が出る、こんな馬鹿氣た事はないではありませんか、贅澤が過ぎます。

モ一つは下着は木綿やネルで澤山、清潔であれば好いのです、下から上迄全部絹物を着るのでは晴衣を一度に何枚も重ねると同じ事で、上流社會の出でるに車あり歩むに裾持ありと云ふ婦人なら知らず、中流の下に居る婦人には無理な事です、で、下着は襟と縁は別の品を接ぐ事にでもして、其他は全然木綿主義に改むるのです、之なら手近く行はれます、習慣であればこそ怪しまない樣なもの丶、假りに今改めて馬の糞を掃く樣な長い裾へ絹物を用ゐると云ふ新案を立てる者があるとしたら天下擧つて其の愚を嗤ふでせう。

△婦人股引の工夫

私が嘗て須田町で晩春の候一人の若者が、電車が出る處へ敢て飛乗りと云ふでもなかつたのが、下駄が辷つた爲めに、乗り損ねて五六間緩く引摺られて行くのを見ましたが、尻が捲れて醜體見るに堪へなかつたのです。すると通行人が指さして笑ひ、あれが若し女だつたらと囃し立てるのでした。幾ら注意しても車掌や運轉手の粗忽から留るべき筈の電車が直ぐ駈け出したりしますから片足踏みかけた處を引摺られる位は覺悟しなければなりません。此に於てか婦人に適當な股引の工夫が問題になります。行燈袴では駄目です、夫れに女は冷へ性だと言ひながら下が行燈だから一層冷えるでせう。股引を穿いたら隨分暖かい事になります、男でも股引は着物一枚に相當すると云ふではありませんか。

△女子の帶

何處の母親も行儀々々と娘を躾けて、帶を胸高かにキユツと〆めてやります、肋骨が狹められて體量も減少するでせう、人間は玩具のお雛樣でありません、美人の資格も追々赤面で腰の太いのが特別上等と云ふ事になつて行くのですから胸の細いのなどは氣が退けて結婚の見合

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ひにも早速落第です、之は早速改良してもらひたいものです、夫れから身長に應じて帶の幅も廣狹度に合ふ樣にする心掛けが必要でせう。

△宴會の和洋折衷

飲んだくれが、何時迄も、くどく管を捲く事を防ぐ便法として追拂ひ主義の洋食式宴會が重寶がられます。だが洋食は日本人に適しない事は十中の八九人迄は主張する處です。洋食は唯だ切上げが付いて結構なのです、そこで私は疊の上で坐つて横長い卓子に向ひ日本料理を一皿づゝ出す宴會を主張したいのです。先づお吸物から始まり次第に甘味の勝つた品を五種なり七種なり一皿づゝ取替へて日本人特有の箸で食ふたら窮窟でなくて結構でせう、最後に菓子コーヒーでお開き食堂を出て別室でお茶としたら立派な追拂ひ主義の宴會にもなります。そして給仕人も凡て後から肩越しに皿を勸める事は廢して前方から差出す事にするのです、之は上流社會の金持の人が、何處かの料理店へ交渉して一度先例を開いたら造作なく一般に行はれる事になるでせう。

狐と大將

巣鴨村人

昔ギリシャにアリストメネスといふえらい大將がありました。大膽な利巧な人でしたので、國民は皆この人を愛しました。

スパルタ人との戰爭で、アリストメネスの軍勢は敗けて、捕虜になりました。其頃のことですから、敵の捕虜などは、今の獨逸の俘虜みたいにお客樣扱ひにはされません。殘酷い待遇を受けました。

スパルタ人はアリストメネスを憎みました。今までこの人から隨分ひどい目に遇つたので、殺してしまはうと思ひました。

スパルタの市に近い山に、狹い岩穴がありました。大層深い穴なので、其處に入つたら出て來ることが出來ません。

スパルタ人は相談しました。「あの男を岩穴に投げ込んでやらう。さうしたらもう我々はひどい目に遇ひはしまい―」

一隊の軍人がアリストメネスを山へ連れて行つて、口を開いてゐる穴の側へ立たせました。「これは我々の敵を送る場所だ」と言つてアリストメネスを投げ込みました。

こな〳〵になつたらうと穴の上の人々は思ひました。ギリシャ人の中には、鷲がこの人を嘴にくはへて、怪我をしないやうに穴の底へ運んでくれたと言ふ人もありますが、まさかさうではありますまい。

多分穴の中には、草や蔓が生えてゐましたので、落ちても怪我をしなかつたのでせう。

穴の底はぼんやり明るかつたけれども逃げ路はありませんでした。岩の壁で四方は圍まれてゐました。よぢ登るだけの足場もありません。

三日間この不思議な牢舍にゐましたが、腹はへるし、喉はかわくし、飢ゑて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

死にさうでした。

ところが自分の側で突然物音がしたので、アリストメネスは吃驚しました。穴の底で何か動く物があるのでした。靜かに氣をつけてゐると、大きな狐がのそ〳〵と自分の方へ歩いて來ました。

アリストメネスは狐がそばに來るまで靜然さしてゐましたが、愈々側に來たので、急に飛びかゝつて、狐の尻尾を捕へました。

狐はびつくりして逃げ出しました。アリストメネスは其の尻尾を持つたまゝ隨いてゆきました。狐は狹い崖の間に這ひ込みましたが、そこには人の身體が漸く這ひ込むことが出來るほどでした。

アリストメネスは倚辛抱してついて行きました。すると頭の上で光がかすかに見えました。そこから日光が流れ込むのでした。けれども路が狹くつて身體が入らないのでした。アリストメネスはこの塲合どうしてましたか。

アリストメネスは狐を逃してやりました。さうして非常に骨を折つて、路を廣げ初めました。次第に這ひ込むだけに穴が廣がつてアリストメネスは遂に廣い野原に出ることが出來ました。

それから數日立つて、スパルタ人は不思議な事を耳にしました。「アリストメネスは再びギリシャ軍の大將になつた」と。けれどもそれを眞實とは思ひませんでした。

子供の智慧

寢かしつける

お母さんに寢かしつけてもらつてゐた君ちやん(五)は、自分が大きな目をあいてゐる中に、お母さんが寢てしまつたのを見すまして、寢床から這ひ出しました。そしてお父さんの側へ來て「母ちやんを寢かしつけちやつた」

眼が寒い

守さんは叔母さんと一緒に歩いてゐました。外套を頭から被つて、其の下に澤山衣物を着てゐるので、寒くはないのですが「寒い、寒い」と申しました。叔母さんは守さんが負つてもらひたい事を知つてゐましたが「何處が寒いの」といふと、守さんは「眼が寒い」

家庭の園藝

千葉晩香

△此一月になりますと園藝家は最早培養土を準備せなくてはなりません

△第一木の葉の腐つた土、砂土(鹽分のない砂土)斯樣な土が準備されましたならば其土を四分又は砂土四分木葉腐壞土(木の葉や古藁の腐つた土)六分位の割合に交ぜて其土の中に人糞尿を交ぜまして度々切り返すがよいのです

△都會の人で糞尿の取扱に慣れません方でありましたならば油粕粉を土の中に交ぜて腐敗せしめてツシテ使用するがよろしいのです

△此月下旬には菊は根分さて根元から出て居ります新芽を摑き取りましてソレチ假植するのです

△櫻草など年の暮に植替が出來ませんでしたならば只今植替てもよいのです

△バラの挿木は只今でも(京濱間の氣候と同樣の土地では)差支ありません

△バラの接木も今月末から二月一杯に終る樣にしますと活着がよいのです

△伊勢撫子など是から植替てもよいのです。カーネーションも同樣です

△ヴアイオレットなど花が見終りましたならば霜の霜のあまり當らぬ所に植替たいものです

△『霜ヤケ』で御困りの方は自宅でセンダンの實を其液を微温湯にして度々患部につけますと忽ち全治いたしますから早く治療なさいまし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

着物の配合

菅野田鶴子

似よつた色合

着物の色の調和といふことは、人々の容姿にもより、又は好にもよりて種々異るものですが、概してあまりにかけ離れた色を用ひ無い方がいゝと思ひます。昔から在り來りの色ですが、紫紺を土臺と致しましたものは、非常に顏を美しく見せますものですから、一般におすゝめ致し度いと思ひます。先づ紫紺土臺の茶紺とか、紺或は江戸紫、松葉色等を地色とした、縞なり模樣なりの上着の下着に用ひますものは、上着の内で最も多く用ひられて居る色、もしくは最も目立つ色が地色又は多く用ひられて居るやうな物がよく調和が取れますやうです。然しもし同じやうな柄を用ひなくてもいゝ場合には、上着よりも心もち薄い色、即ちぼかし位ゐの程度のものを用ふるのがいゝのでせう。襦袢の襟は上着より薄いのか、或は上着が薄ければ濃いのかを用ふるのです。裾廻し袖口も、表の中で一番勝つて居る色に似寄つた色を用ひ度いと思ひます。次は帶ですが着物が黒ずんで居る時には、白茶地がゝつたもの、着物が薄色の時には濃厚のものと申しますやうに、いつも着物の色と反對の度合のものを用ひ、又着物の模樣がスートして居る時には、帶は平たい丸味を帶た模樣、着物が込み入つた模樣の時には、成るべくあつさりとした形の帶を用ひる樣に致しますと、見た處も大層よろしくなります。

△肥えた人瘦せた人

肥えて居る人は凡べて色糸等も極少なく用ひた、縞の細かい淡りとした色で、お上品向の幾分か沈だ色氣を用ひ、瘦せた人は美しい明るい色のものがよろしうございます。鼠色又は靑い色のものは淋しく見えますから、出來るだけ赤味を持つた方の色を擇び、袢襟等も濃りしたものが適します。

△細面の人丸顔の人

細面の人は總模樣風のものがよく、丸

十二

顔の人は縞を土臺としたもの、又は地色の濃いのに色數を少なく用ひた模樣が適します。

只今は襟などに茶地が澤山用ひられて居りますが、あれを掛けますのならば、着物はどうしても紺氣のかゝつた色、又は黑地のものがよく調和が取れますやうです。

家庭小言

雲舟生

◉家を持つて既に六年を經たるも、一挺の鋸を買ふ能はず、必要の場合には屋主に借りなどして間に合はせゐたり。其の不自由なることいふまでもなし。舊臘妻は遂に之を求め來りて、竹片を挽き居れり。傍より其の價を聽けば、廿八錢なりと答ふ。其の價の廉なる、菓子を買ふ錢を節すれば直ちに求めうべきものなりき。然るに之を買はず、頭を下げて他人に借り、言ひ難き不自由を忍べるの愚いかにも笑ふべし。廿八錢にて家一代の重寶となる。家具の至廉なる、今更驚かざるを得す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天下に一番うまい物

余が養生法（承前）

薄田斬雲

▲美味と甘味

今日は正月の書き初めに、うまい物のお話をします。うまいと言つても、美味と甘味と二種ありますが、甘味いものでは蜂蜜、美味いものでは牛肉、之れが私丈けでは兩大關です。

だが、私が今日話そうと云ふ天下に一番うまい物は美味と甘味を兼ねたうまいもので、之は漢字を當てはめる事は出來ません、やはり假名でうまい物にして置きます、それは何かと云ふと葡萄です、往昔、外國で異つた國の人が三人一所に會してうまいものゝ話をした時、名々に天下一のうまい物を主張して一歩も讓らなかつた。では明日三人共に其のうまい物を持寄つて食い比べて見やうと云ふので、翌日三人各々其の主張するうまいものを懷にして來て、卓上に出して見ると、各國三人共に葡萄であつたと言ひます、各國名々名稱を異にして居た爲めに名目爭ひをした丈けの事で、葡萄は天下一のうまい物と云ふ事は何千年の昔から極つた事です。

▲葡萄の種類

私は先日林檎の話をする時西洋葡萄も林檎と同時に私の郷里弘前の地へ明治十年頃輸入されたと申しましたが、私は此の葡萄棚の下で育つたので、當時の事を思ふと、エデンの園です、今でも私は三日に一度位は葡萄棚の下を歩いた夢を見ます、其頃の葡萄の種類にはイサベラ、アレキサンダー、シャスラ、フランケンタール其他二十種ばかりの名稱があつて、大人の拇指よりも大粒なのや、長圓形のや、熟すと薄い皮が自裂するのや、汁が滴れそうな水々しいのや、隨分面白い種類がありました。併し一番うまいのは西洋種よりは在來の日本種、即ち東京の店で見る甲州葡萄と云ふやつです、あれは日本葡萄と言つて餘程以前から日本に在つたのでせう、能く熟すると大變うまいが、少しでも時機が早いと酸くていけない。其點は西洋葡萄は一寸色が付くと酸味が少くて完全に熟しない中から食へるのです。人の話には支那の山東省の葡萄は世界一だと言ひますが、私はまだ食つた事はないから信用はしません。

▲葡萄は食い飽かぬ

私は隨分思ひ切つて葡萄を飽食した經驗があります、決して食い飽かぬものです、どんな結構なものでも終には其味に飽いて來ますが、葡萄は決して飽きません、それに、私の葡萄の食い方は甚だ贅澤なのです。私は郷里に居る時裏畑に葡萄棚が三四個所あり他に垣作りにした葡萄畑も澤山ありましたが、葡萄は運送に困難な爲め買つても値段がしません、今でも一貫目十錢十五錢二十錢と云ふので

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すから其頃では十錢位のものでした、で私は大いに食はんとしたが、直き腹が一杯になつて食へません、そこで皮と果肉の間の汁丈け吸つて後は吐き出す事を考へたら、之は幾ら食つても腹が張りません、そこで朝起きぬけに裏畑へ行つて夜露に冷えて居る葡萄の汁を吸ふのです、朝の空腹は幾ら吸つても滿たされません、終には舌が荒れて血が出ます、そこへ家人が朝飯の催促に來ますから、家へ入つて飯を食ひ、晝飯前には又葡萄、夕飯前にも就寢前にも葡萄、其の狀宛から酒飲みが朝から飲み續けの氣味です、夫れで決して胃を惡くしません、唯だ困つたのは舌が荒れて出血して痛い事でした、何んでも六七間四方の棚を三棚略獨りで食い盡したので、家人も驚いてしまひましたが、自分ながらも少々驚きました。

▲下戸黨の實物

私が葡萄の贅澤な食ひ方を御紹介するのは、宴會に於ける下戸黨の時代を作らうと云ふ謀反からです、上戸黨ばかりが自分の天下だと言つた顔で飲んで居るのが癪に障るから、宴會や御馳走の場合には下戸黨は酒の代りに葡萄を要求する習慣を作りたいのです、そしたら一夜中でも上戸黨の相手をして居られます、葡萄も時期でなくては高價至極なものですが、上戸君が一升も飲み荒らして第二次會などゝ暴ばれる丈けの費用があれば隨分澤山の葡萄が味はれるでせう。皮と果肉を吐き出して甘い汁丈け吸ふと幾ら食つても腹が苦しくならず、此の樂みこそは陶然として夢醉境に入る上戸黨と對抗がなります。

▲下戸黨萬歳

社交に於て、下戸は人間扱ひされません、之は酒を飲めないからです、酒の代りに葡萄を用ゐたら下戸も始めて大威張りになるでせう。夫れに酒は二日醉ひだの、醉ふた上の失敗などありますが、葡萄の汁は葡萄糖を其儘なのだから決して胃を惡くせず却て百藥の長です、胃病者には葡萄療法と言つて葡萄を食はせて治す方法もあると言ひます。

兎に角、今後、宴會には、酒と葡萄を主とし、下戸は葡萄、上戸は酒と極めたいです、然うなると、我輩も大意氣込みで出來る丈け宴會に出席し大に社交を樂み得る事となります、新年早々下戸黨の謀反計劃此の如きもので、之が實行されると、下戸黨萬歳です。

十四

零下廿三度の正月

北海道　淺田浪子

二三百軒の人家からなつて居る、この新開地の西舍村には、新年と申しまして も神樂の音一つ聞えず、攝氏零下二十三度位の寒氣にとぢられて、ストーブの前に雜煮を祝ふのが關の山です。けれども小倉百人首は、目に文字ない勞働者に至るまで非常にもてはやされて居ります。アイヌは正月は祝ひませんが、一月前後に行ひます熊祭は一寸人目を引くものです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

運命に弄ばれた象山の姪（二）

泥中に咲く花

△紅燈の影に現はる

今を去る八九年前に紅燈の影に怪しき姿を現した容貌卑しからぬ一婦人があつた。黒味勝ちの眼、くつきり通つた鼻、きりりとしまつた口元に無限の愛嬌を湛え、殊にすらりとしたその姿にはどことなく由緒ありげな女であつた。而も高振らず、へり下らず、要領好く客をもてなすので忽ちに港第一の流れ妓となつた。藝名を鈴江と云つて、鈴を振るやうな美しい唄に憬れの眼を放たないものはなかつた。あまたの男は甘きに着く蟻群のやうに彼の女に前に集つて、歡心を求めつゝ、すきもあらば乘じて命より大切な女の操を弄ばんとした。が鈴江は「浮き沈みは人の運、沈めばこそ藝妓商賣をしてをれ、しれ男ら客としてもてなすが、この清らかな操に許さない」とわれとわが心に固く誓つたのである。さればこそ、吹けば靡かん柳の、優しい風情を示し乍ら、折れもせず、わが身の美徳を傷けなかつた。

△命かけの戀

それ程高く己れを持し、婦徳を守つた鈴江も伊豫の豪商大島の若主人の前には、その固い決心もゆるみ勝ちであつた。かくて大島と鈴江は身を燃やす螢の清かな戀をしみ〴〵として味ふやうになつた。「この人ならば、わが終生の運命を托するに足る」と晴れて嬉しい日の來るを心待ちに待ち詫びて、時には降りそゝぐ海の雨に涙をしぼる事もあつた。

けれども命にかけた鈴江のこの願望も遂には彼大島の父の耳に入つて、二人の切なる誓は一蹴されたのである。「心柔え如何に美しからうとも、一度卑しい稼業に身を沈めた者はこの家に入れる譯には先祖に對して出來ぬ」と云ひ張つて金鐵の如く動かぬ。若主人は身も世もあらぬ思ひをして、大阪へ商用にかこつけて木の江なる鈴江の許に赴いた。たえて久しい逢ふ瀬にその心を躍らした鈴江の眼は、涙で輝いた。常とはうつて變つた大島は夜の草木の如くうち萎れて始終の物語をした。「私をそんなに卑しい者と……」云ひかけた鈴江は思ひ直して「無理もありませんわ」と云ひかへた。

△飄然として旅立つ

この戀ならではと誓つた鈴江は其時から、つく〴〵浮世がいやになつた。親の借財を返へすために知らぬ他國へ身を隱して心だに清からばと浮き川竹に身を沈めた結果、かくも人から賤しめられやうとは露思はなかつた。血を洗へば、天下の傑物佐久間象山の姪である。豪商とはいへ素町人からそれほど輕蔑される身分ではないと口には言はねど、心に泣いて潔く大島と別れることにした。其時大島から貰つた僅かの涙金を礎にして、藝者を止めて飄然旅立つたが、尼にもなれず山にも入らず、矢張浮世の塵にまみれてさてこそ呉の片ほとりに娘相手の稼業を營むやうになつたのである。かゝる運命の飜弄から解脱するには、彼女はもう一層心の光を輝かさねばなるまい（をはり）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女流作家　エリオツト(二)

△信仰の變遷

エリオツト女史は二十一歳の時、兄が妻帶したので、父と共にコベントリーに閑居した。この新生活は女史の生涯に重大なる發展を來した。女史は玆に於て希臘羅典を學び、佛獨伊の三語をも習つた幾多の名士と交を結んで、宛然學者の集會の花と歌はれた。米國の哲人エマルソンが英國へ旅行に來たので、女史はこの哲人の面容に接することが出來た。

女史は幼時から物の奥底まで考へる癖があつたが、斯る癖は長じて哲學的考察となり、漸く幼時の信仰にも變動を來すやうになつた。チャールス・ヘンネルの「基督教起源に關する考究」などは、其頃の新研究として大に歡迎されたものであるが、女史はそれを讀んで大に啓發された。女史は次第に教會から遠かつた。其のために父の怒に觸れて一時は勘當されたこともあつた。十九世紀中頃の科學思想勃興の裡にあつた女史の思想に斯る變動の來たのは止むをえぬ次第である。

△性格の二方面

女史は其頃人から頼まれてストラウスの耶蘇傳の飜譯に從事した。二年の歳月を費して其飜譯は漸く成つた。ストラウス自身も滿足の意を表したといふ。併しストラウスが快刀亂麻を斷ち切るやうに女史がお母さんの膝によりながら聽いた福音の物語を遠慮なく破壞してゐるので、それには痛く胸を痛めた。やさしい心の女史にはそれが辛くつてならぬのであつた。飜譯しながら筆が澁つてたまらなかつたといふ。女史には妙に矛盾した二つの性格があつた。一つは其の理智的方面で、知識的に滿足しなければ止まぬといふやうな意氣込みと、他の一つは柔しい情から何者をも壞したくないといふのだ。この二つの性格は其の作品に大なる影響を與へた。斯る性格から、女史は其頃アケンピスの「基督の模倣」を讀んで、深く其の敬虔の情に打たれ。

十六

△女史の結婚

父の歿後、女史はウエストミンスター評論の記者となり、哲學者ハーバート・スペンサーと相知つた。二人はあまり親しくしたので、世人は結婚するだらうと風評した。けれどもスペンサーは女史と結婚すべく、あまり淡泊な人であつた。女史は其頃スペンサーの紹介で、不遇の文士リウキスと近づきになつた。リウキスの情に厚い性格は妙に女史の心を惹いた。リウキスには妻があつて、子供が二人もあつたが、不幸にして離別し、唯法律上の手續をすますことの出來ぬ破目にあつた。女史はリウキスの斯る不幸に同情し、遂に之れと約婚するに至つた。この結婚は道德上にやかましい英國の物議をかもした。けれども女史は眞正の愛の在る所に道德があるといふ主張の下に、凡ての物議を拂ひのけて、リウキスと家庭を營むに至つた。(くも)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（二）

松本雲舟

浴場の二

其の健康はどうかといふに、さやう、ほんとうに健かではない。さうかといつて、若いシセナのやうに、朝湯に入つて、自分が坐つてゐるのか、立つてゐるのか解らないほどには、感じが鈍くなつてゐるのでもない。唯氣分が勝れないのだ。ヴイニチウスはエスクラピウス（醫藥の神）とキプリス（戀の女神）に加護を乞ふことを勸めた。けれども、ペトロニウスはエスクラピウスを信ぜぬのであつた。エスクラピウスはアルシノエのか、コロニスのか、誰の息子だか解つてゐないと、母親さへ解らぬやうでは、ましてその父親は？ 其の當時誰か自分の父親は確かだと受け合へやうぞ。

ペトロニウスはから〳〵と笑つて、「低う言ひたした、一二年前に、私はエピダウルス（エスクラピウスの神殿所在地）に三打の肥つた生きた雄鷄と金の盃を贈つたことがある。何故だか解るかい。私自身は善かれ惡しかれ、害にはなるまいと思つたからさ。神々に献物などする連中は、大抵まあ私がやつたやうな理屈からだらうさ。それはカペナ門で旅人に雇はれる騾馬逐者のやうなのは格別さ。それからエスクラピウスに就ては、昨年腎臓が惡かつた時に、圖らずさういふ種類の者にかゝり遇つた事がある。所がお殿の中へ一晩寢らずに籠れといふわい。この惡漢共がと思つたが、まあ考へて見れば、別にそれが害になるわけでもないし、どうせ世の中は欺僞でもつたものさ。人生その者が自ら欺く()ちやから。人間だつて夢さ。おやかな、愉快な欺僞と愉快でない欺僞とを見わけるだけの見識を持つてゐねばならん。だから、私は湯を沸すには龍涎香を洒いだ杉の木を用ゆるやうにさせてゐる。生きてゐる間は、臭氣よりも香氣を選びたいからな。それからキプリスのお惠みをとお前さんは勸めてくれたが、其の御加護なら、私は右の足がずき〳〵と痛むほど充分經驗してゐるよ。兎に角善い女神さまには相違ない。晩かれ早かれ、お前さんもあの女神の祭壇に白鴿を献げる時が來るだらうよ」

「全くその通りです」とヴイニチウスが答へた。「パアシヤ人の矢は免れましたが戀の女神には刺し通されましたよ。市の門から一哩と離れてゐない所で、實に意想外でさ」

「そいつは是非聽かざなるまい」

「實は御意見を伺はうと思つて參つたのです」とヴイニチウスが答へた。

折りしも三助がペトロニウスをまた洗ひ初めたので、談話が途切れた。ヴイニチウスはペトロニウスの勸めるまゝに、上衣を脱いで、温かい湯の中に漬つた。

「それはさうと、お前さんの戀は返へされたのかどうか、問ねなんだな」とペトロニウスは大理石に刻んだやうなヴイニチウスの若々しい體格を眺めながら、「リンプス（希臘の彫刻家）がお前さんを見やうものなら、若いヘルクレスの像だと

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いつて、今直ぐにでもパラチネ門に飾るだらうよ」
若者は満足氣に笑つて、湯の中に沈むと、溢れる湯は泡立つて、ヘラ（ジウスの妻）がジウスの神にお縋みなさいと言つてゐる所を描いた寄木細工の床に流るゝのであつた。ペトロニウスは美術家の眼を以て樂しさうに眺め入つた。
ヴイニチウスは湯から上つて、順番が三助の手に身を委せてゐると、朗讀者に紙草の卷物を入れた青銅の桶を前にさゝげて立ち現はれた。
「お前さんは、どうぢや、聽くかね」とペトロニウスが問ねた。
「あなたの御作りになつたものなら、喜んで」とヴイニチウスが答へた。「さもなければ、お話し仕てゐた方がよいです。詩人などは今日は、どの町の隅つこへ行つても人を引止めて長談義をしますからな」
「ほんにさうぢや。廊堂でも、浴場でも、圖書館でも、本屋でも、猿見たいな身振をする詩人に出遇はさない事は先づないからな。アクリッパが東邦から還つて來た時、あの詩人共を狂人と間違へたさうだ。時代の風潮とでもいはうか、皇帝が詩を作られるから、皆ながその眞似をするのさ。唯一つ禁せられてる事は、皇帝よりも巧い詩を作らぬ事、其故聊かあのルカンが心配になるぢやて。私か、私は散文を作る。自分も他の人も嬉しくもなんともないやうなね。今この朗讀者は不運なファブリキウス・ヴエエントの一節を讀まうとしてゐるのさ」
「どうして不運ですか」
「オデッセー（ホーマアの詩）を弄りまわして居れ、新しい命令の出るまで、家へ歸つてはならぬといふのぢやからな。一方から見れば、この今オデッセーはユーリセス（オデッセーの主人公）のやうに苦しいともなからう―細君はペネロープ（ユーリセスの妻にして賢婦人）のやうでなくともな。斯る命令の馬鹿らしさは説明するまでもないことぢやが、玆では表面に出てゐることだけが、話の種になるのぢや。ファブリシウスは憐れぽい退屈い書物を書きをつたぢや。所が萬人奪ひ合つて讀むといふわけで、著者は忽ち追放さ。誰でも皆それを讀んで、惡口だ、惡口だといふのさ。確にファブリシウスは爪の垢ほどの事を大袈裟に書きをつた。ぢやが、この市や家長や女達の事を能く知つてゐるお前さんなどは、ファブリシウスの書いた所は實際よりも薄色してあると思ふだらうよ。兎に角讀者が自分の事を諷されてゐるのぢやないかと怖がつたり、友達の事を諷されてゐるのぢやないかと喜んだりしてゐるから面白いよ。アヴエヌスの本屋では、百人の書記が其の書物を筆寫してゐるさうぢやが、確に成功さ」
「あなたの惡口も何にか出てゐるのですか」
「勿論さ。ぢやが、著者は的が外れた。私は著者が書いてゐるよりも、もつと性が惡くつて、もつと馬鹿ではないのぢやからな。お前も知つてる通り、玆ではもう久しいこと、德不德を差別する能力が失くなつてゐるのぢや。セネカやムソニウスやトラスカは德不德の見分けがつくやうな振をしてゐるが、私自身はそんな差別は不要ぢやといふのぢや。そんな事はどちらでもかまはん。正直な話、そんなものさ。所でぢや、私は唯一點の優れたものを持つてゐる。それは醜いものさ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美しいものを混然にせん事だ。かうふ所は赤髯の詩人（ネロ帝の綽名）にも馭者にも歌女にも舞妓にも歷史家にも解らんさ」
「兎に角フアブリニウスは氣の毒ですな、善い男でしたに」
「己惚が破滅を來したのぢや。別にこれといふ事はないのに、誰でもあの男を疑つてゐる。然もあの男は自ら制して、萬事大まかにすることが出來ぬのぢやからな。それはさうとルフイヌスの話を聽いたかな」
「いえ、聽きません」
「では、涼み室に行つて、涼みながら、其の話をしやう」

慰安錄

精神上生活上種々御煩悶のある方は何卒御投稿下さい、御力添へになりたいと存じます。

女寫眞師に

△私は鹿兒島縣のもので廿六歳になります、將來女寫眞師になりたい望みがあるので、上京を思ひ立つて居ります。東京時事の廣告を讀み、神田の寫眞研究所より規則書を取寄せて見ました。それによると三ヶ月で一人前の寫眞師になれる。尙速成科は一ヶ月で修業が出來ると書いてありました。何の經驗もない私が一ヶ月や三ヶ月で修業が出來るでせうか。それに私は入費とてもありません、毎月の宿料授業料研究材料費小遣など、私にはそんな大金はありません。其故寫眞師の家で、家族的に置いて下さる所でもあればと思ひます。兎に角安心して修業の出來る方法を御敎へ下さい。（水仙女）

▲女寫眞師は廣い東京にもあまり見當りません女の職業も次第に殖えて參りましたが、女寫眞師は少し無理かと存じます。其故學費のないのに寫眞師にならずとも宜しうございませう。寫眞研究所の三ヶ月卒業などに信用がおけません、兎に角いかなる仕事でも、五六年の修業をなさねば一人前になれぬ事を御承知なさいまし。（記者）

東京に出て

△過る日曜に當地の日本メソヂスト敎會へ參り、婦人週報に人事相談所のあるとを知りました。私は至つて信仰の足らぬ者で、大正二年師範學校を卒業し、二ヶ年程田舍の小學校に奉職いたしましたが、昨年三月病氣其他の事情のために職を辭し、目下家事の手傳をしてゐますが、病氣も全快しましたので、東京に出て適當な職業を得たいと思ひます。さうして及ばずながら傳道もしたいと存じて居りますが、確實な處へ御世話下さると は出來ますまいか、何卒御願ひ致します（八戸たま子）

▲東京へ出ろやうな御考は止めて、田舍で小學の先生をなさいまし、東京はあなたの思ふほど善い所でもなく、又さう容易く確實な仕事を得る望みもありません、あなたは師範を出て、田舍に居れば立派に小學教師で通つてゆくのですから、それが一番安全な路です。誘惑の多い東京に出る事はあなたの身を滅ぼす基となるかも知れません。田舍にゐて小さな子供のために、又神のために働らかれることを望みます。（記者）

職業を求む

△事務員にでも　私は三輪田女學校を卒業しました廿三歳の女ですが、事務員に御使ひ下さる所はありませんでせうか。（さみ子）

△婦人記者にでも　私は高等女學校を卒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

業した者でございますが、將來は婦人記者になりたい希望を持つてゐます。どこか確實な新聞社か雜誌社で記者の見習にでも御使ひ下さいませんか（水仙）

△良家の女中に　私の友人にて本年廿九歳の婦人、他へ嫁き居りましたもの、離縁となりました爲めに、暫らく良家の女中に參りたいと申して居ります。本人は福岡の高等女學校を卒業したものでございます。（安子）

時事

最近一週間の記録

◉露特使來朝　露帝陛下には　日本天皇陛下御即位奉祝の爲め御名代宮ミハエルウイチ太公殿下を御差遣相成り來る十一日頃を以て御特使は御入京の御豫定にて御旅途中にあらせらる兼て御相識の御間柄なる閑院宮殿下には御接伴の任に當らせらるべし安達公使以下御出迎として三日安東縣に向け出發せり。

◉邦船復擊沈さる　佐世保松浦町橋本喜藏氏所有建國丸（三千二百十七噸）は麻尼拉麻を滿載し舊臘廿五日ポートセッドを出發伊太利へ向け航海の途中廿九日希臘の南方クリート島附近に於て獨逸潛航艇の爲めに擊沈されたるも乘組員四十名は救助されたり。

◉出超一億七千萬圓　昨大正四年一月より十二月までの内地對外貿易は輸出七億〇六百萬二千圓（前年より一億一千五百六十一萬三千圓增）輸入五億三千二百〇四萬五千圓（前年より六千三百四十萬八千圓減）合計十二億三千八百〇四萬八千圓にて一億七千三百九十五萬七千圓の輸出超過なり之れ本邦貿易史上空前の事實なり。

◉婦人會合同年始會　愛國婦人會、將校婦人會、篤志看護婦人會、教育婦人會、婦人共立育兒會、戊申婦人倶樂部等の都下に於ける各婦人會の會員等が混淆にて主催する婦人年始會はいよ〳〵十日の午後一時より麴町の富士見軒に於て開催する事に決定したるが、當番の幹事は鳩山春子濱尾作子夫人等三十名、會費は一人七十五錢の他に諸雜費として二十五錢、都合一圓にて何人にても入會出席隨意なりと。

◉歌川若桒女史歸る　五ケ年間一管の彩筆を友として、歐米を歷遊し稱讃を得たる書家歌川若桒女史は四日地洋丸にて歸朝せり、女史は千九百十年初めて倫敦に渡り、翌年三月自作展覽會を催し、爾後佛、獨、伊等の各地にて、新聞雜誌の挿畫及び表紙等を書きて到る處に日本書家の名聲を博したり。

◉女生徒監禁問題　千葉縣立東金高等女學校一年級西組組長中村節子（十六）が同校運動會の繪葉書を生徒に分與したる代金五圓を教室の中に藏ひ置きたるに何時か紛失したりと受持教師に訴出でたるより學校にては授業を休みて三日間に亘りて各生徒につき嚴重取調たる結果同級生なる松野靜江（十五）を嫌疑者として暗室に投じ指紋を取るなどしたるより靜江は苦痛に堪えかね自分が盜み取りたりと申立てたれば退校處分を受けたり靜江の父は學校當局者の處置を憤り此程東金署に對し川村校長及び專任教師を相手取り不法監禁並に名譽毀損の訴を提起したるが學校側は飽まで靜江の所爲なりとし目下一問題となりつゝありと。

◉救世軍の示威運動　屠蘇機嫌の新春劈頭に靈界の革命を期して三日午後一大示威運動は行はれたり、日比谷原頭「血火」の軍旗下に、勢揃ひしたる者八百餘名。

二十

◉女同士三人心中　千葉縣印旛郡六合村字荻原機織工場岩井小助方工女海上郡銚子町字田中二六六山谷直吉長女お清（十六）同所入町倉橋國松二女お定（十八）同荻原お磯（十七）の三名は工場主の虐待に堪へ兼ね三日夜八時頃手を携へて逃れ出で四日午前二時頃安食町に來蒐りし時空腹となり三人ながら懷中無一物なるより如何ともする能はず三人相抱いて同町長門橋より小鹽川に投身したるが折よく通行人に救上げられ手當を施して蘇生せしめたり之が爲め小助は成田分署に引致されたり。

◉米國の小包郵便圖書館　近頃米國ウイスコンシン州に設けられたる小包郵便圖書館は頗る便利なるものにて廣く傳播されつゝありと云ふ今其概要を聞くに同州民にして一冊につき十錢の運送賃を負擔するものは如何なる寒村僻地にある者も田園に耕し工場に勤勞しつゝある餘暇に州圖書館の如何なる書籍と雖も借讀し得る規定にて最初の八ケ月間に此便宜に對して要求せるもの七百四十三件にて最も遠きは圖書館を離るゝ事二百五十哩の州民より申込ありたりと而して借用者は郵便局長か小學教師か若くは他の責任ある人の保證署名を要し借りたる書籍は普通の場合二週間以内に返還するものなりと云ふ。

個人消息

▲**ミス、クレーン**　嬢はモンテソリー女史の高弟なるが四日横濱着來朝し小石川高田老松町なるゾラツクマホームに當分滯在すべしと。

▲**岸邊福雄氏**　舊臘二十三日米國旅行より歸朝せる氏は御大典御跡拜觀の爲め一週間の豫定にて四日京都へ赴きたり。

▲**大隈首相夫人綾子**　此の程より微恙にて引き籠り居らるゝ由。

▲**一木榮子内相母堂**　舊臘三十一日逝去。享年七十二

▲**金子子爵夫人彌壽子**　二日心臟病にて逝去葬儀は四日午後二時青山齋場にて、佛式にて擧行せられたり。

▲**村井吉兵衛氏夫人かの子**　一日永田町の自邸に逝く。享年四十七

▲**村上專精氏**（東洋高女校長）は殖民地の精神的方面の狀態を視察する爲め五日台灣へ向け出發せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より

▲元旦號から四六四倍型を四六二倍にして表紙をつけましたとは、讀者さまから大歡迎を受けました。あちこちから歡迎の意を含んだ御手紙を寄せられました。

尚この上は口繪をと望んだ方もありますが、一部定價四錢五厘では、とても口繪をつけるだけの餘裕がございません。これが月刊ならば、月に一度ですから、余程立派な表紙をつける事も出來ます。本誌は月に四回（若しくは五回）ですから、表紙も四（五）回つければならず、從つて製本を四（五）度せねばなりません。其れだけでも月刊よりも（四（五）倍の費用を要するわけですから、從つて表紙も立派にすることが出來ませんのです。まして口繪まではつけられません。併しもつと部數が澤山出るやうになれば、口繪の一枚や二枚はつけられるやうにならうと思はれます。

▲元旦の朝から新らしい讀者の申込が余程ございました。昨年の暮の大多忙の時でも、新讀者の申込のなかつた日は一日もございませんでした。かくして私共の同志は益々殖へて[illegible]次第で、[illegible]なることも例に洩れません。婦人界の一大勢力となりつゝ、社會風俗を改良し、充分に弱者の味方となることの出來る日も必らず來らうと存じます。

▲今年は昨年現在よりも三四倍の同志を作るつもりで編輯同人は努力してゐますから、讀者さまもどうぞ澤山の同志を御紹介下さるやうに御願ひ致します。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

●婦人週報定價（每週金曜發行）

壹部 金五錢（但し郵送料五厘を含む）
一月 金貳拾錢（四部又は五部）
三月 金六拾錢（十三部）
半年 金壹圓拾錢（廿六部）
一年 金貳圓貳拾錢（五十二部）

●本誌廣告料

特等（表紙の二、四） 金參拾圓
壹等（表紙の三、白紙前付） 金貳拾五圓
貳等（色紙の表側） 金貳拾貳圓
參等（色紙の內側） 金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替宛名は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷人 小橋三四子
印刷所 福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎日向きむ子著

銀と藍

（好評）

四六判美本
定價八十五錢
送料八錢

新生活告白文

◎道徳を超越せる才媛の靈筆!!

▼彼女は虚榮の婦人に非ず。三越にも白木にも足踏をせず、牛乳や香水の風呂にも入らず、『檜御殿』にも住はず。

▼彼女は病人や貧者を憐むため簞笥のものは一つ二つと減らして今は所謂る光榮ある清貧の生活をなせり。

▼彼女は忍入りたる强盗に人道と信仰を説きて、悔改を迫り、その盗賊を善心に立歸らせたる宗教的の賢婦人也。

▼彼女は良人の不幸にも意氣を沮喪せず、其の轗軻不遇の境遇にも悪びれずして丈夫の如く健闘を持續せる也。

▼彼女は銀色の月光と、藍色の海洋とに因りて其詩情を染めたり。其艶麗なる告白文は當代罕に見る絶品也。

◎詩歌あり小品あり評論ありて趣味は溢る!!

▲新春の讀物▼

著者	書名	冊數	定價	送料
マイアズ 齋藤勇譯	◎聖パウロ	一	五〇	六
櫻井大尉	◎肉彈	一	七〇	八
同	◎銃後	一	一五〇	八
櫻井鷗村	◎リンコーン物語	一	一二〇	一二
龜高博士	◎化學と人生	一	一八〇	一二
故元良博士	◎心理學概論	一	三八〇	一六
日下部重太郎	◎國語百談	一	七〇	六
新渡戸博士	◎折にふれ	一	一二〇	八
同	◎英文武士道	一	一〇〇	八
櫻井鷗村	◎歐洲見物	一	一七〇	一二

發行所 東京麹町三丁目 丁未出版社（振替東京七八四七）

二十二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）
電、番六二番
東洋内科醫院
院長 醫學士 **高田畊安**

南湖院
電話ちがさき二番
相州茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

婦人週報讀者に限り
特價提供!!
シンガーミシン會社製造の家庭用ミシン
體裁優美にして和服裁縫刺繍に最も適す
キャビネット型及び客室用裝飾になる
新式ミシン
種類及定價表の目錄御望みの方は婦人週報社へ直接御申込を乞ふ
婦人週報社代理部

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二三五七

入院應求
院長ドクトル 淺田繁太郎
淺田小兒科醫院
芝區田村町十六
（電話芝三三二七番）

あかくはれ、くづれていたむのがすぐなほる
陸軍常用 **石樟膏**
しもやけの藥
毎年の大好評故是非御試しあれ
藥價金十錢 送料金二錢
（三錢郵券四枚封入申込あれば直ちに發送）
製造發賣 小石川區高田老松町十七番地
目白藥局
振替東京三一六九二

古本**專門買入**
小石川區大塚
御報參堂
山加書店

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル **富田貞一**
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

眼科一般
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
吉野眼科院
小石川區高田豐川町
（女子大學校前）

◎**小兒科**
◎**内科**
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 **清水榮**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□吉例大賣出□

旅順開城を記念する爲吉例之通
十一日藏ひらきより二十日迄

我が皇運國光を宇内に輝したる征露戰役の大局は旅順の開城を以て決せりと稱せらる、其開城を永遠に傳るの意を以て組織せし記念賣出も今や伊勢丹の年中行事として廣く天下に知られ既に十二回を重ぬるに至れり是全く華客各位の御愛顧に基く者と雖も一は弊店が私利を捨て唯國運の發展と其榮を倶にせんと勵むる微意に因るとも信申候茲に聖代の履端に際し又其記憶を新にせんが爲吉例大賣出を行ひ各品大破格の廉價を以て提供仕候間是非共御來店の榮を賜り度候　敬白

福引附大賣出

御買上金高五圓毎に左の福引券壹枚を進呈いたし候

一等　呉服券にて　金五圓也
二等　呉服券にて　金貳圓也
三等　呉服券にて　金壹圓也
四等　記念圖案　帛紗壹枚
五等　記念圖案　八千代縮壹本
六等　記念圖案　手拭貳筋
以上

景品の呉服券は直ちに御必要の品と御取換申候

神田旅籠町　伊勢丹呉服店
電話下谷　一二三番　八四七番　一六六三番　三二九〇番

■最近の發明品■

◎姿を美しくする帶上げ止め　定價三十錢より

生れつき姿の悪るい方でも帶を上手にしめると見違へる樣に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の樣で中々六ヶ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばごんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肩、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衞生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり内臟（肺、心臟、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衞生上極めて理想的の品であります。

■販賣店■
三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物屋萬新商店
同富士喜商店
本社代理部店

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同樣美麗にいたし候
あらいはり、しみぬき、ゆのし、
右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候
宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
（京都）井筒屋支店　中村榮次郎

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候　電話下谷五六七四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA